



60-16

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6月 20日

豊田市長 殿

住 所 愛知県名古屋市中区東新町1番地
氏 名 中部電力パワーグリッド株式会社
届出者 代表取締役 清水 隆一
社長執行役員
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 052-951-8211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2024年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	中部電力パワーグリッド株式会社 北豊田変電所
事業場の所在地	愛知県豊田市田村町石場559番地の1
事業の種類	33：電気業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	0 t	全処理委託量	0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

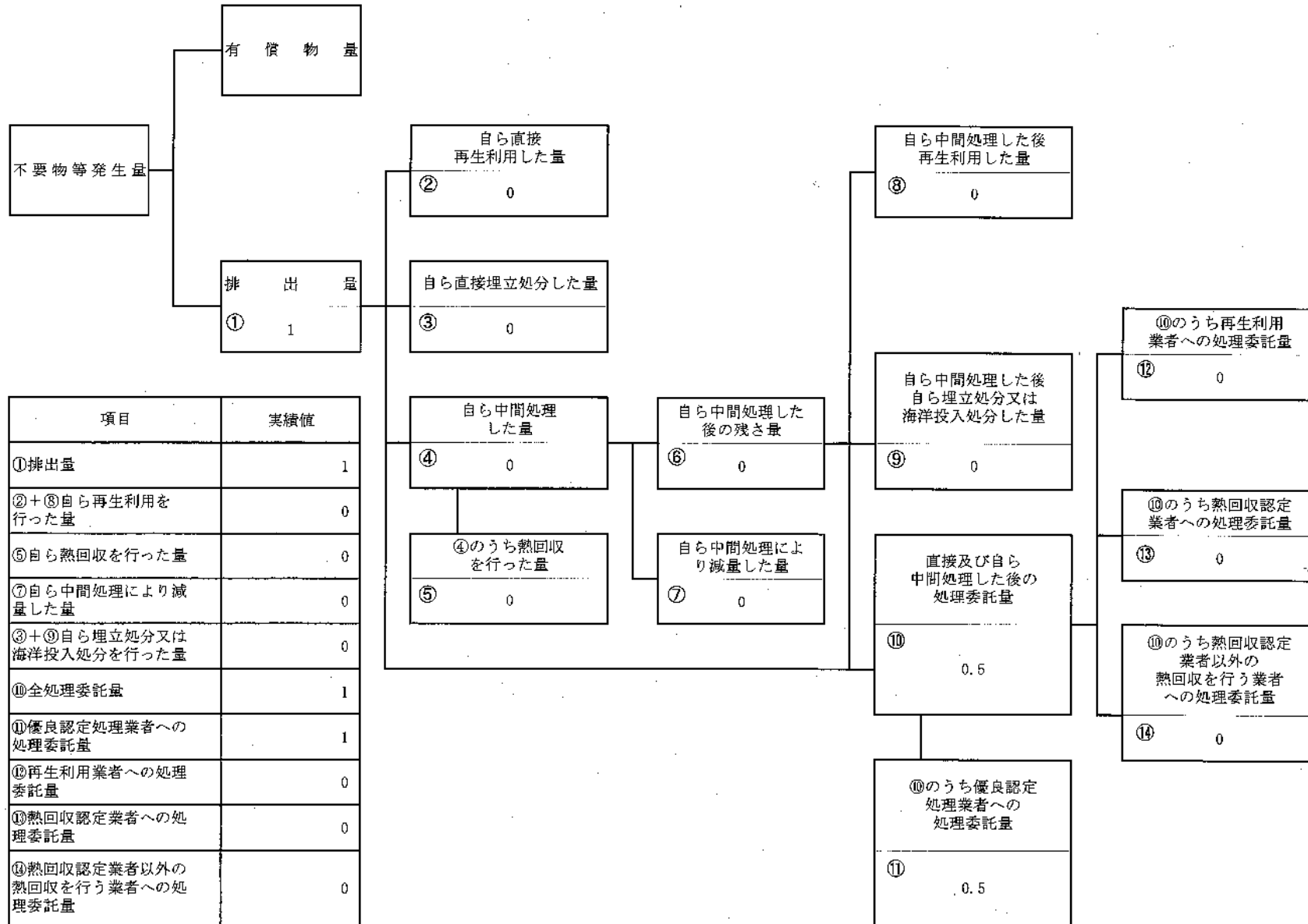
特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く）	前前年度 0 t 前年度 0 t
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）	

※事務処理欄

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：P C B 汚染物)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	中部電力パワーグリッド株式会社 北豊田変電所	従業員数(人)	8,988	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	中部電力パワーグリッド株式会社 旭名東支社 青山 慎之介	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 052-778-1221 (FAX) 052-778-1261	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		PCB汚染物				
項目		低濃度汚染物等				
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (— 年 度 実 績 —)	a 不要物等発生量(t/年)	1				
	b 有償物量(t/年)	0				
	① 排出量(t/年) (①=a-b)					
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0				
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑤)	0				
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)	0				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0				
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)					
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)					
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	0.5				
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.5				
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0				
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)					
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0				

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。